

ねんきん病院を支える仕事人のリレーコラム ① 言語聴覚士

突然ですが「言語聴覚士」という職種をご存知ですか。言語聴覚士とは、こ

とばや聴こえ、飲み込みに障害のある方のリハビリテーションに携わる専門職です。現在、約1万5千人の有資格者がいますが、医療、福祉、教育機関など幅広い領域で活動しており、多くの人材が求められています。一般的にリハビリと聞くと、まだ言語聴覚士の認知度は低く、手足を骨折した際などにリハビリを行う理学療法士や作業療法士をイメージされる方が多いと思いますが、当院にはコミュニケーションや飲み込みのリハビリを行う言語聴覚士が3名勤務しています(写真1)。患者さまの病状(全身状態)や重症度に応



言語聴覚士 小森さなえ 須藤英津子 高柳法成

じてベッドサイドや病棟、訓練室で1回20分〜40分程度、訓練を行っています。私たちは、こ

とばや聴こえ、飲み込みに障害のある方のリハビリテーションに携わる専門職です。現在、約1万5千人の有資格者がいますが、医療、福祉、教育機関など幅広い領域で活動しており、多くの人材が求められています。一般的にリハビリと聞くと、まだ言語聴覚士の認知度は低く、手足を骨折した際などにリハビリを行う理学療法士や作業療法士をイメージされる方が多いと思いますが、当院にはコミュニケーションや飲み込みのリハビリを行う言語聴覚士が3名勤務しています(写真1)。患者さまの病状(全身状態)や重症度に応

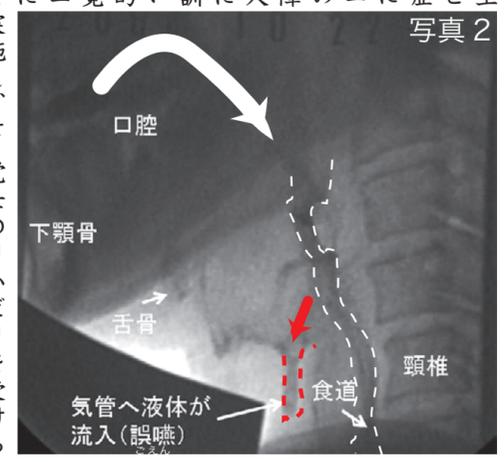


写真2: 口腔内視鏡検査の様子。舌骨、口腔、下顎骨、頸椎、食道、気管への液体流入(誤嚥)が示されています。

遅れなど、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方が対象となります。飲み込みの障害(嚥下障害)は、脳卒中、神経・筋疾患や加齢により、うまく飲み込めなくなり、本人・ご家族を支援して

な、当院にて言語聴覚士のリハビリテーション科医師による診察が必要となります。診察の結果、医師が言語聴覚士による訓練が必要と診断した場合にのみリハビリを実施することとなります。外来リハビリを希望される方は、リハビリテーション科の外来受診を予約してください。予約は整形外科外来で受け付けています(電話予約可)。

意識になる病気があり寄り添いシリーズ 第二回 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)



きよけつせいしんしんしょうかん ぎょうしんしょう しんきんこうそく

今回は、狭心症と心筋梗塞で代表される虚血性心臓病について、循環器内科の綾部先生に語ってもらいましょう。ちなみに、綾部先生は「気にな

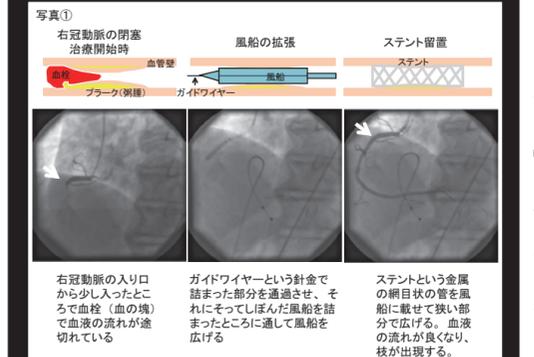
最近、テレビのCMで電車の中で心筋梗塞の発作を起こして倒れるサラリーマンの映像が流れていて、患者さまからも心筋梗塞について

の「人口動態統計」によれば、癌で亡くなる方が約三十三万人、脳卒中で亡くなる方が十三万人で、心臓病で亡くなる方は約十八万人とされています。この心臓病で亡くなる方のうち心臓の動脈である冠動脈の病変(虚血性心疾患)が進行して亡くなる方は年間七万五千人程度と言われています。

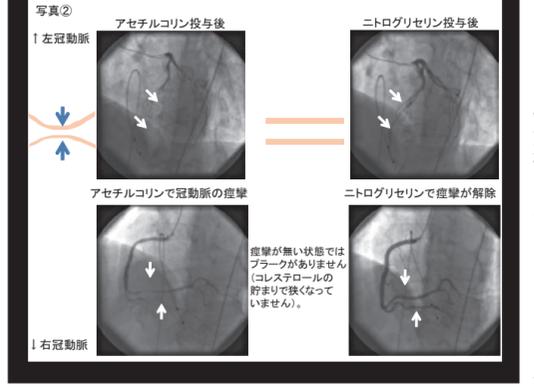
食生活の欧米化に伴い虚血性心疾患は年々増加しており、特に心筋梗塞については急激に増加しています。また入院の必要性について説明されてもなかなか踏み切れない患者さまも多いのが現状です。今回のかわら版の特集では実際に経験した事例を紹介させていただきます。早期発見のお手伝いできれば幸いです。

虚血性心疾患とは、心臓の筋肉である「心筋」に血液を送る三本の動脈である「冠動脈・冠動脈」が狭くなった状態をいいます。十分に酸素が供給されず、心臓に酸素不足に陥る状態をいいます。運動や血圧上昇などの負荷が心臓にかかった場合に一時

経皮的冠動脈形成術・ステント



冠攣縮性狭心症



たステント内で血が固まらないようにする抗血小板剤という複数の薬剤の内服が長期間必要となります。そして出血や手術を必要とする状況になった場合にこのような薬を中止することで、ステントの中が血の塊で詰まって心筋梗塞になる場合も報告されています。最近では治療した血管がまた狭くなるのを予防するために薬物溶解性ステントという特殊な薬剤を表面に塗りこ

2面へ続く

「人間は血管とともに老いる」といわれ、人間は生ま

れた瞬間から動脈硬化が始まります。初期の動脈硬化では血管の壁に脂肪線状という小さな斑点状の脂肪の塊を認めます。これが動脈硬化の進行とともに、冠動脈の血管壁の内側である内膜にコレステロールなどの脂肪からなる粥腫が段々とできてくることとなります。この段階で安定していれば血流が低下するのみで狭心症で済んでしまいます。ところが、高血圧等による血管へのストレスがかかり、粥腫がパンパンになった状況では粥腫を覆っている血管の内側の膜が破れます。そうなると急激に粥腫の中身が血液が流れている部位に出て、血小板という血液の成分を引き寄せて血の塊(血栓)を作り出すことで血管を詰めてしまうことが原因です。

院内にFamily Martがオープン

2010年の院内の重大ニュースの一つとして、外来にコンビニがオープンしたことをあげる方も多いことでしょう。これまでは売店が同じ場所にありましたが、コンビニに変わったことで、スペースが広がった、品数が多くなった、開店時間が長くなったなど、利用しやすくなったというありがたいご意見をいただいています。

以前に本館地下2階にありましたが、閉鎖になった際には、患者さまより復活して欲しいなどの意見をいただきました。また、外来に食事や休憩ができる椅子や机などのスペースを増やして欲しいなどの要望もありました。そのような中で、コンビニでは、イトースペースを増設することはもちろん、衛生雑貨をそろえたこと、365日営業することなどで、皆様からのご要望にお応えできていれば嬉しい限りです。

まだオープンしたばかりなので至らない点があるかと思いますが、これまで以上



に院内での皆様の環境がよりよいものになれば幸いです。今後とも、是非コンビニをお気軽にご利用下さい。(医療情報部 山田有希子)

病院における「安全」のための取り組み

当院では、患者さまが安心して安全な医療を受けられるよう、医療安全管理指針を定め取り組んでいます。ご協力お願いいたします。

転ばない!

★入院中の履物はスリッパでなくても結構です

1. 履き慣れた
2. 音の少ない
3. 滑りにくい ...ものをお願いします

「転倒予防シューズ」は当院コンビニでも置いてあります。

- ★情報提供をお願いします
- ・入院前に転んだことがある
 - ・役立ちそうな生活習慣の情報 (例)トイレに行く時間 など



医療安全のための第1歩は「分かり合うこと」です。わかるまで「聞こう」「話そう」「伝えよう」何でも遠慮せずにお尋ね下さい。

患者間違いを防ぐ!

★同姓同名の患者さまがたくさんいますので、患者さまにフルネームで名乗っていただいています。

外来受診の際は、「番号」と「フルネーム」を言ってお入り下さい。

★入院患者さまは、リストバンドを着用していただいています。



食品アレルギー

・食品アレルギー患者さまは、入院時に看護師に申し出て下さい。

アレルギー食のトレーは茶色にして患者さま、医療者共に分かりやすいようにしています。



医療安全管理室

薬剤アレルギー

・薬剤アレルギーのある患者さまにアレルギーカードを発行しています。医師にご相談ください。

<例>

薬剤	アレルギー	カード
氏名:	年金 花子 様	
生年月日:	昭和〇〇年 △月△日生 (女)	
薬剤名:	*****	
出現症状:	湿疹、痒み、吐き気	

「大江戸つくとよろず診療所かわら版」編集委員会

- | | | |
|---------------------|------------------|---------------|
| 病理科.....井上 泰 | 看護部.....茂木真由美 | 内科.....佐藤芳之 |
| 整形外科(医局長).....岡田知佐子 | 歯科・口腔外科.....大庭祥子 | 看護部.....塩澤美枝 |
| 栄養部.....鬼頭延枝 | MSW.....井上忠司 | 薬剤部.....藤掛沙織 |
| リハビリテーション室.....高柳法成 | 医療情報部.....小原健志 | 病歴室.....山本早矢加 |
| 医療情報部.....山田有希子 | 医事課.....原田 民 | 事務局.....斉藤貴子 |



←一面からの続き

んだセントも使うようになりました。このような薬剤を内服されている方で薬の中止が必要となる場合には主治医の先生と十分に相談をしてから行ってください。

冠動脈バイパス術

冠動脈の狭窄部を血液が流れにくいのなら他の部分から血液がその狭窄を通らないで流れ道(バイパス)を作ればいいのではないかと、自分の体の心臓以外の血管を採取して作る全身麻酔による手術です。現在では経皮的冠動脈形成術が容易に行われるようになりましたが、狭く詰まった部分がたくさんある場合やカテーテル治療が難しい場合には非常に有効な治療です。

日本人に多い冠動脈狭窄性心症

最近では冠動脈のCT検査が発達しており、入院も必要としないため虚血性心疾患の診断において当院でも有効に活用しております。しかし入院が必要で、カテーテルの通り道の動脈の血管に傷がついたり、動脈の刺した部分に血腫という内出血を生じたり、塞栓症(脳梗塞・腎梗塞など)など合併症があるのが欠点ですが、頻度としては非常に少ないです。CTに比べて古い検査と思われがちなかテーテルを用いた冠動脈造影検査にもいくつかの利点があります。

まず最初に急速な進行が予想されるような患者さまでは

検査後にそのまま狭窄に対してカテーテルによる治療を行えるという点です。

また二番目には、日本人に多いとされる冠動脈狭窄性心症において冠動脈の癒着を薬の注入によりわざと起こさせることにより診断をつけることが可能です。一年のうち回数回しかなかったり、運動しても症状が無いのに夜中や早朝の胸の痛みをお持ちの方はいらっやいませんか?この病気で風船やセントの治療が必要がなく、また特効薬があるためにちゃんと診断がつけば薬で症状を抑えることが可能になります。

写真②の患者さまは夜中の胸痛という症状で受診されました。冠動脈の造影CTでは特に狭窄を認めていませんでしたが、早朝・夜間の胸の痛みがありニトログリセリンの舌下薬が非常に有効でしたので入院をお勧めして今回心臓カテーテル検査を受けていただきました。写真でお分かりの通りアセチルコリンという痙攣の誘発物質を心臓の動脈に入れると急に血管の径が細くなっていきます。検査終了後、カルシウム拮抗薬という降圧剤の一種を内服してその後症状は全く出なくなりました。

二次予防、三次予防について

症状が起こってから血管を前に述べたカテーテル治療や冠動脈バイパス手術で救うことも循環器内科の仕事ですが、虚血性心疾患の治療

は血管の血液の流れを良くするだけではありません。患者さまのこういった病気を生む背景となった生活習慣病に積極的に介入して改善することが今後の病気を未然に減らし、寿命を長くすることに繋がります。事実、高血圧、糖尿病・高脂血症・喫煙を重

糖尿病・高脂血症・喫煙を重

お薬ミニコラム①

「薬の使い方」

こんにちは。

前回までの栄養ミニコラムが終了し、今回からお薬ミニコラムの連載を始めます。少し視点を変えて薬の面でもお付き合いください。よろしくお祈りいたします。

さて、記念すべき第一回ですが、皆さんに関係のあるテーマということ、薬の使い方について少し述べたいと思います。

「きちんと座って飲みました」これ、何の薬のことかお分かりですか?

答えは「坐薬」です。坐薬とは、肛門から挿入するお薬のことです。しかし「ざやく」と聞き、「座薬」と捉えてしまいう間違いが知られています。信じられない!と思った方に、第二問。

「食間」とはいつのことでしょうか? 答えは「食事と食事の間(空腹時)」を指します。しかし実際には「食事中」との間違いが多くみられます。

「坐薬」と「食間」は間違いが多いことと有名です。そのため、当院では坐薬には使用方法の説明書をお渡しし、食間に限っては「食後2時間」と言葉を変えて、少しでも誤って服用することのないよう心がけています。

皆さんは薬の使い方の意味や理由を考えたことはありませんか?例えば、痛み止めや解熱剤では副作用の胃腸障害を予防する目的で食後が推奨されます。空腹時に吸収が良い漢方は、十分な効果が得られるよう食前や食間が推奨されます。また、当院での「食



イラスト: 臨床心理士 林 利恵

(薬剤部 藤掛沙織)